

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日 時	令和 8 年 3 月 12 日（木） 13:30～15:45
場 所	沖縄県立図書館 6 階研修室
出席委員名	望月道浩委員（会長）、田端一正委員（副会長）、安藤由美委員、大城邦夫委員、大城寿賀子委員、吉浜幸雅委員（6 名）
議題及び報告事項	報告事項 1 令和 7 年度図書館運営状況等について 報告事項 2 令和 8 年度当初予算案の概要報告 報告事項 3 第 2 次沖縄県立図書館運営方針（令和 8 年度～令和 12 年度）の策定について 協議事項 1 新たな運営方針に基づく図書館評価案について 協議事項 2 令和 8 年度沖縄県立図書館重点取組事項について
会議の概要	報告事項 3 件及び協議事項 2 件について、質疑応答及び協議を行った。各議題に係る委員からの質疑、協議結果等については別紙のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 大城・平良 電話 098-894-5858
備 考	

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日 時	令和8年3月12日（木） 13:30～15:45
場 所	沖縄県立図書館 6階研修室
会議の概要 （委員からの質疑等）	報告事項 1 令和7年度図書館運営状況について <質問> ○分類別による本を借りられている方の年齢構成はわかりますか。 <回答>分類別の貸出冊数と世代等をリンクしたものはございませんが、最も貸出利用が多いのは30代・40代となっております、全体を通した最も借りられている分野は文学となっております。 ○今後の読書人口を増やすために、今の10代20代に絞った戦略を仕掛けた方が良いと考える。今後、特に貸出冊数の多い文学や児童書・社会科学などを多めに購入してはどうか。 <回答>県立図書館は専門書など、市町村との役割分担を考えて書籍を購入しています。若年者については、館内の書籍の配架を分かりやすくするなど検討していきたい。 報告事項 2 令和8年度当初予算案の概要報告 <質問> ○離島読書活動支援事業については、マイナスになっている部分もあるが、その分は離島読書活動充実活動で振り替えており、離島支援については令和7年度より充実しているとの理解で良いか。 <回答>離島読書活動支援事業で減額した部分については、離島読書活動充実事業の方で賄っています。資料購入費など全体として両事業とも予算額は増となっており、離島読書活動の支援の充実を図っているところです。 報告事項 3 第2次沖縄県立図書館運営方針（令和8年度～令和12年度）の策定について ※特に無し 協議事項 1 新たな運営方針に基づく図書館評価案について <質問> ○各市町村図書館等とは具体的などのような助言等をされているか教えてください。 <回答>市町村は研修開催や運営に係る情報提供のほか、図書館サービスに関する詳細な問い合わせなどについて回答するなどしています。 <委員意見>県立図書館のシステムは先進性の高いものとするため、各市町村の体力に合った県全体の図書館のレベルアップに繋がるような支援を期待しています。 <質問> ○児童・生徒から意見を聞く場というのがありますか。 <回答>図書館見学や職場体験、読書リーダー研修などで直接話を聞く機会があり、今後はこういった機会に参加した児童・生徒から、ITを活用したアンケートを行うなどの試みも実施しているところです。 また沖縄県では、1カ月に本を読まない生徒の割合（不読率）が高校生で48.1%、中学生で19.7%という調査結果から、県内の高校生を対象に半年間の伴走支援を行うなど、全国的にも珍しい不読率に対する働きかけを行っております。 <協議結果等> 事務局提案のとおり進めていくことで確認された。

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日 時	令和8年3月12日（木） 13:30～15:45
場 所	沖縄県立図書館 6 階研修室
会議の概要 (委員からの質疑等)	協議事項 2 令和8年度沖縄県立図書館重点取組事項について ＜質問＞ 学校図書館への支援については、具体的にどのような支援をイメージしていますか。 ＜回答＞ 学校図書館司書の研修会などを利用し、県立図書館の活用方法の周知を図るほか、実際に対面で会うことによって相談し易い環境を作っていきたいと考えています。 ＜質問＞ 貴重な資料についてデジタル化をしたら色々活用できると考えるがどうか。 ＜回答＞ 県立図書館が所蔵している貴重資料に関しては貴重資料デジタルアーカイブがあり、インターネットで誰でも見られるようになっています。今後は活用が広がるよう、今まで以上にPRしていくことが必要と考えています。 ＜委員意見＞ ○ただ、利用者が来るのを待っているだけではなく、館外に向け、平和などのグローバル課題等についても、発信していくことも必要ではないかと考える。 ＜委員意見＞ ○県立図書館には非常に良い資料がそろっているが、活用の仕方を分からない人が多いのが現実だと思う。移民関係や専門的な資料も多いので、学校の授業などでも活用できるよう、先生向けの宣伝があっても良いと思う。 ＜協議結果等＞ 事務局提案のとおり進めていくことで確認された。 提言等 ○若いうちから本に親しんでもらうことが重要だと考えるため、中高生、児童を持つ保護者への支援が必要と考えるため、これの方々をターゲットとした書籍の購入が必要ではないか。 ○県立図書館として、県民の読書離れや歴史文化への興味関心という課題に対して、市町村の公立図書館や学校図書館と連携し、解決に向けた役割を果たすことも重要だと考えます。 ○生成AIの登場により、これから先新たな予測できない時代に向かうなか、県立図書館としても生成AIの適切な利活用について検討が求められるかと思います。県立図書館として、図書館サービスへの適用のあり方についても検討し、その知見を市町村の図書館等に還元することで利用者の生活を豊かにしていきかけになるかと思っています。